

第3学年A組 社会科学習指導案

授業者 細野 悠司

1 単元名 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済 ～すごいポロシャツ屋さんによる新商品発表会～

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）2内容 B (1)に以下のように位置付けられるものである。

(1) 市場の働きと経済

対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解すること。

(イ) 市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解すること。

(ウ) 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解すること。

(エ) 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現すること。

(イ) 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現すること。

本単元においては，経済活動の意義について消費生活を中心に学びながら，なぜ市場経済という仕組みがあるのか，どのような機能があるのか，なぜ金融は必要なのか，どうしてそのような仕組みがあるのか，個人や企業には経済活動においてどのような役割と責任があるのか，といった市場経済の基本となる考え方などに関する理解を基に考察し，表現することができる適切な問いを設け，それらの課題を追究したり解決したりする活動を通して，市場の働きと経済について関心を高め，課題を意欲的に追究する態度を育成することを主なねらいとしている。

(2) 指導観

本単元では，商品開発を単元の中心におく。このことによって，挑戦心を引き出すねらいがある。挑戦しやすい環境づくりのために生徒が「やってみよう！」と思えるようなフィードバックや声かけを大切にしたい。

商品開発は経済的分野のまとめでは定番の手法ではあるが，生徒たちが考えたポロシャツが学校で着る制服になることが生徒にとって学習内容がより身近に，自分ごととして捉えさせるためのねらいもある。

(3) 研究の手立てについて

授業の設計についてと思考の変容が読み取れる「社会科学びの地図」の活用については教科論を参考にされたい。

【手立て1】 困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設計

・本校社会科では生徒の挑戦心を「学習活動において、現代社会に見られる課題を解決しようとするところから、よりよい社会の実現を目指す姿」と捉えた。それを引き出すために、単元を通して生徒自ら問い続け課題解決に取り組めるような学習指導の工夫を行った。

【手立て2】 生徒自らの「挑戦心」の意識化

・本校社会科では授業の設計と生徒の思考の変容を自身が認識するためなどを目的に「社会科学びの地図」という振り返りのワークシートを活用している。「学びの地図」を形成的評価につなげることで、生徒が学習を自己調整したり、学習課題を追究する際、各々の学習目標の設定の手助けとしている。詳細は教科論を参考にされたい。

【手立て3】 教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て

・協働的な学びの充実のために、多量な情報を活用しながら異なる視点で考え、協働的に学ぶ場面を意図的に学習展開に組み入れた。それらは、単元の指導計画や本時の展開において示す。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。
- ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。
- ・個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとする。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

(3) 単元の指導計画 (13 時間扱い)

○「評価に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

次	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価規準 (評価方法)
		知	思	態	
第一次 1時間	<p>【第一次のねらい】「経済とはなんだろう？」という問いについて知っていることを活用して考察し、話し合った結果を発表し、単元の見通しをもつ。</p> <p>・経済のイメージを言語化し、意見交換をすることで、今後の小単元の課題を探究する必要感をもたせる。</p>				
	<p>【小単元を貫く学習問題】「経済とはなんだろう？」</p> <p>・これからの学習のイメージを取り上げ整理し、今後の学習の見通しをもたせる。</p>			●	●整理した経済のイメージから、これからの学習の見通しをもっている記述がある。
第二、三、四次 8時間	<p>【第二次のねらい】2次の課題「消費者にはどのような権利や約束があるのか？」について資料を活用して考察し、話し合った結果を発表する。</p> <p>【第三次のねらい】3次の課題「消費者の手元に商品が届くまではどのような仕組みになっているのか？」について資料を活用して考察し、話し合った結果を発表する。</p> <p>【第四次のねらい】4次の課題「企業の仕組みや目的とは何だろう？」について資料を活用して考察し、話し合った結果を発表する。</p> <p>【第五次のねらい】5次の課題「労働者にはどのような権利や約束があるのだろうか？」について資料を活用して考察し、話し合った結果を発表する。</p> <p>※紙幅の関係で毎時間の課題のみ示す</p>				
	【第二次の課題】「消費者にはどのような権利や約束があるのか？」				
	【第三次の課題】「消費者の手元に商品が届くまではどのような仕組みになっているのか？」				
	【第四次の課題】「企業の仕組みや目的とは何だろう？」				
	【第五次の課題】「労働者にはどのような権利や約束があるのだろうか？」				
第六次 4時間	<p>【第六次のねらい】</p> <p>・これまで学習した内容を活用して、各班でオリジナルポロシャツを企画し、提案する。</p> <p>・企画の発表と相互評価を行う。</p> <p>・相互評価の内容を踏まえて、企画書を練り直す。</p> <p>・各次の学習内容を踏まえて、小単元の学習課題「経済とはなんだろう」について考察し「社会科学びの地図」に記入し学習を振り返る。</p> <p>・「社会科学びの地図」を用いて、レポートを作成する。</p>				
	<p>【小単元を貫く学習問題】「経済とはなんだろう？」</p> <p>・これまで学習した内容を活用して、各班でオリジナルポロシャツの企画書を考える。</p> <p>・班ごとに発表しあい相互評価とより良くするための提案を行う。</p> <p>・発表会の内容を踏まえて最終提出に向けて、企画書を練り直す。</p> <p>・各次の学習内容を踏まえて、小単元の学習課題「経済とはなんだろう？」について自分の意見を考え「社会科学びの地図」に記入し学習を振り返る。</p> <p>・「社会科学びの地図」を用いて、レポートを作成する。</p>	●	○	○	<p>●身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p> <p>○これまでの学習を活用し対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、提案を多面的、多角的にとらえより良い案を提案している。</p> <p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p> <p>●パフォーマンス課題のレポートに向けて、形成的評価を行う。</p> <p>○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている記述がある。</p>
本時 2 / 4					

4 本時の学習（/4 時間目）

(1) ねらい

- ・ 班ごとに発表しあい相互評価とより良くするための提案を行う。

(2) 展開

過程	学習活動・学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の働きかけと支援 ★ 教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観点</div> 具体の評価規準
導入 (5)	1 本時の課題を設定する。		
課題 提示	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 各班でオリジナルポロシャツ案を提案し、相互評価とアドバイスをしよう！ </div>		
課題 追究 (30)	2 各班でオリジナルポロシャツ案を提案し、相互評価とアドバイスを 行う。 ○提案の後、相互評価とアドバイスを 交互に行う。その際、参観者の先生 方からもより良くなるための意見 をもらう。 ○一班2分以内の発表とし、相互評価 1分、アドバイス2分、計5分2回 10分間を1ターンとし、合計3ター ン行う。 (10) 3 自分たちの提案をより良くする ために提案を見直す。 ○相互評価とアドバイスを踏まえて、 自分たちの提案を練り直す。 ○必要に応じて、もっと詳しく聞きた い場合は班を超えた交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ★ 発表の相互評価とより良くするための提案を行うことで、生徒が自分自身の学びを評価し、改善することをねらいとし、協働的な学びの充実の手立てとした。 ★ 多様な人からの意見を取り入れることで、知識やアイデアを共有し、新たな視点を獲得することをねらいとし、協働的な学びの充実の手立てとした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 思 これまでの学習を活用し対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、提案を多面的、多角的にとらえより良い案を提案している。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導を行いながら、話し合いが行き詰まっているグループには支援を行う。 ・ お互いに意見交換することでメリットのある班を見つけて、班同士の交流を促すための橋渡しを行う。 	
成果 の 整理 (5)	4 「学びの地図」に本時の学習を振り返り、この授業で一番大切だと思ったことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の学習についてわかったことや、「学びの地図」に記入させる。 	

※教科書 東京書籍『新編 新しい社会 』2021年版